



今年も残り2週間となりました。心配されたインフルエンザの流行もなく穏やかな年末となりそうです。このまま新年を迎え、冬休み明けも通常どおりの学校生活を送れることを願っております。

さて、冬休み前の学校生活は残り1週間です。本校では冬休みに向けての指導を計画的に行っておりますが、充実した冬休みが送れるよう、ご家庭でもご確認をお願いします。

◇子ども芸術鑑賞会（第2学年）

12月13日(月)、本校及びあそ野学園義務教育学校、葛生中学校、常盤中学校4校合同の「子ども芸術鑑賞会」が佐野市葛生あくとプラザで開催され、2年生がオペラシアターこんにゃく座公演「オペラ ネズミの涙」を鑑賞しました。

このオペラはネズミのような、人間から見ればちっぽけな動物が芝居をしたり、戦争に巻き込まれたり、恋をしたり、喜び、悲しみ、絶望し、希望を取り戻したりしながら生きていく姿を通して、私たち「人間」の愚かさ、けなげさ、そして生きる姿が見えてくる感動的な作品です。

生徒たちからは「とてもは迫力があってすごくよかった。」「これからは平和であることに感謝して生きていきたい。」「ネズミたちが戦いの中でも愛や笑いがあったとても感動した。」などの感想がありました。

こんにゃく座の皆様、素晴らしい公演をありがとうございました。そして今回の公演は佐野市文化会館のご支援により無償で実施していただきました。普段は鑑賞する機会がないオペラ鑑賞の機会をいただき、深く感謝いたします。

【ポスター】
オペラ
ネズミの涙

◇群竹祭代替展示

12月8日(水)から15日(水)までの期間、群竹祭(学校祭)で展示される予定だった作品が校舎2階南北連絡通路に展示されました。

今回展示された作品は、PCデザイン部が作成したイラスト、美術の授業で描いたデザイン画、家庭科の授業で作成した作品とお弁当レシピ、校内写生会の作品、各種作品展に出品された絵画やポスター、書道作品などです。



先週行われた全校保護者会の際に、来校された保護者の皆様にはご覧いただきましたが、本校のホームページ（学校ニュース）に展示された全作品が掲載されておりますので、ぜひご覧ください。



URL は <http://www.schoolnet-sano.ed.jp/tanumae-j/> です。

また、右上の QR コードからもアクセスできます。

◇家庭での冬休みの過ごし方の参考に

今年度から、新しい学習指導要領*が完全実施となりました。この学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が重視されています。本校でもこれに即して授業に取り組んでいます。コロナ禍のため対話を取り入れた授業に取り組みにくいところもあります。

ところで、冬休み中に家庭での学習でも「主体的・対話的で深い学び」ができます。今回紹介するには「ファミリーフォーカス」という取組です。

これは、家庭で家族と一緒に新聞を読み合う活動です。例えば土曜日や日曜日の朝食後、家族で新聞を読み、福祉や人権などについて話し合ったりします。実際の新聞でなくてもインターネットのニュースでもかまいません。またこの活動をする際、難しく考える必要はありません。子どもの興味・関心に即して、まずニュースに触れるところからはじめるとよいでしょう。

「スポーツ選手」「動物」「自然」など、興味があった写真を集めるだけでもよいでしょう。新聞の見出しには、おもしろい見出し、おどろくような見出し、かわいい見出しなど、たくさんの種類があります。家族で気に入った見出しを集めてみるだけでも意味があります。新聞には、すごく昔のことに関する記事もあります。家族で、最近分かった昔のことに関する記事を集めて、読んでみましょう。昔の出来事ではその時代はどのような時代だったのかを家族で調べたり話し合ったりするのもおもしろいです。

新聞(ニュース)を読み合うということは難しいことではありません。関心あることについて話し合う、これが主体的・対話的で深い学びの大事な基本です。それを繰り返すことで、対話する力や社会を見る目が育っていきます。そしてお子さんが何に関心があり、何を考えているのかも見えてくるでしょう。

(参考：早稲田大学教師教育研究所招聘研究員 岸尾 祐二 氏 寄稿の記事から)

※「学習指導要領」とは？

「学習指導要領」は、全国どこの学校でも一定の水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。これにより、例えば理科ではどのようなことを学習するかなど、学習内容が規定されます。

およそ 10 年に 1 度、改訂しています。教科書や時間割は、これを基に作られ、生徒たちは今年度から改定された新しい教科書で学習しています。